

平成26年度関東倶楽部対抗神奈川会場予選競技 組合わせ及びスタート時間表

(参加者 26倶楽部 ・ 156名)

期日：5月20日(火)

場所：小田原ゴルフ倶楽部松田コース

(18ホール・ストロークプレー)

関東ゴルフ連盟

1番よりスタート

Aクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	7:30	上野 雅之	東京カントリー	鮫島 康孝	箱根	岡村 武夫	磯子		
2	7:39	渡辺 史郎	相模湖	中村 彰宏	横浜	高安 博之	相模原		
3	7:48	橘 隆史	鎌倉	奥谷 浩司	湯河原	又市 義男	芙蓉	中村 民男	神奈川
4	7:57	二亦 博	相模	大川 陽一郎	小田原・松田	椎名 光博	清川	村上 弘行	相模野
5	8:06	西 政則	葉山国際	田代 猛	東名厚木	幸田 精司	平塚富士見	佐藤 信	大秦野
6	8:15	太田 再勇	大相模	山本 昭一	湘南	横溝 建夫	秦野	瀬脇 伸弘	チェックメイト
7	8:24	守屋 孝則	中津川	井上 清次	津久井湖	坂本 孝由	伊勢原	秋元 嘉夫	レインボー
8	8:33	鳴海 淳	東京カントリー	鈴木 勇	磯子	原 繼雄	横浜	開坂 芳光	鎌倉
9	8:42	漆原 啓一	芙蓉	吉川 茂	相模	濱田 正行	清川	鈴木 英文	葉山国際
10	8:51	石井 基雄	平塚富士見	大場 邦夫	大相模	山田 良	秦野	新鍋 一郎	中津川
11	9:00	加藤 哲朗	伊勢原	萩原 篤博	箱根	佐々木 巧	相模湖	森田 和之	相模原
12	9:09	高橋 哲	湯河原	渡邊 千洋	神奈川	落合 義徳	小田原・松田	佐々木 徹	相模野
13	9:18	間藤 正広	東名厚木	高橋 敏	大秦野	藤島 治	湘南	河西 勇次	チェックメイト
14	9:27	堀江 克美	津久井湖	松本 滋彦	レインボー	村田 清	東京カントリー	近藤 雅英	相模湖
15	9:36	佐藤 太作	鎌倉	松岡 邦博	神奈川	平戸 進二	清川	鈴木 克彦	東名厚木
16	9:45	中原 正人	大相模	加藤 昭	チェックメイト	帖佐 寛己	伊勢原	今戸 節夫	箱根
17	9:54	鈴木 正剛	横浜	山口 隆	湯河原	鴨志田 弘和	相模	羽鳥 賢次	相模野
18	10:03	佐藤 政弘	平塚富士見	尾崎 仙次	湘南	石井 卓昌	中津川	小西 隆昭	レインボー
19	10:12	犬飼 和春	磯子	山本 二郎	相模原	与安 義昭	芙蓉	志藤 貞	小田原・松田
20	10:21	草間 忠博	葉山国際	石井 孝一	大秦野	中島 廣行	秦野	金子 清	津久井湖

10番よりスタート

Bクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
21	7:30	柳下 直男	東京カントリー	光山 富夫	横浜	三ツ井 雅貴	芙蓉		
22	7:39	秋元 省二	清川	関口 洋一	平塚富士見	馬場 雅之	秦野		
23	7:48	石橋 重信	伊勢原	石川 誠剛	箱根	白石 哲也	相模原	清水 圭	神奈川
24	7:57	伊藤 貴史	相模野	大鷲 富雄	大秦野	江副 五月	チェックメイト	緑川 貴	レインボー
25	8:06	笹田 照近	磯子	新屋 忠男	鎌倉	金子 純一	相模	山崎 昭人	葉山国際
26	8:15	中里 匡良	大相模	榎本 雄文	中津川	丸山 勇人	相模湖	菊原 一夫	湯河原
27	8:24	加藤 健二	小田原・松田	竹平 卓生	東名厚木	白井 剛	湘南	鈴木 優也	津久井湖
28	8:33	遠藤 朋之	東京カントリー	田中 雄三	相模原	内野 秀紀	相模	手島 豊	東名厚木
29	8:42	都元 陽介	秦野	大津 育朗	レインボー	赤津 裕次郎	箱根	橋本 光雄	鎌倉
30	8:51	中村 正美	小田原・松田	瀬谷 和彦	平塚富士見	大瀧 圭一	チェックメイト	星野 英章	磯子
31	9:00	石井 弘幸	湯河原	小泉 文隆	清川	坂井 徹士	大秦野	守屋 克則	中津川
32	9:09	田中 義仁	相模湖	門井 寛	芙蓉	永井 宏	相模野	渡辺 治人	大相模
33	9:18	江成 浩	津久井湖	鈴木 淳一	横浜	森下 裕司	神奈川	徐 裕貴	葉山国際
34	9:27	美原 正信	湘南	瀬戸 千尋	伊勢原	野田 憲正	東京カントリー	怒谷 直志	鎌倉
35	9:36	松田 永基	清川	今井 千春	大相模	中村 勝郁	伊勢原	福島 宏昌	箱根
36	9:45	吉田 欣司	湯河原	栗原 穰	相模野	加藤 正基	湘南	今村 保之	レインボー
37	9:54	矢川 修	磯子	三ツ井 敏弘	芙蓉	森 光弘	葉山国際	大瀧 道德	秦野
38	10:03	岩佐 勇太郎	相模湖	伊藤 嘉昭	神奈川	大城 哲男	東名厚木	蛭名 忠親	チェックメイト
39	10:12	遠山 武志	横浜	平井 隆夫	相模	渡邊 裕純	平塚富士見	河邊 博和	中津川
40	10:21	金澤 正幸	相模原	風間 智行	小田原・松田	鳶田 真一	大秦野	山口 勝広	津久井湖

競技委員長 豊泉 幸夫

平成 26 年度 関東倶楽部対抗神奈川会場予選競技

開催日 : 5月20日(火)

開催コース : 小田原ゴルフ倶楽部松田コース

本競技においては日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこの競技の条件・ローカルルールを適用する。
本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。
ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、本競技の条件とローカルルールの違反の罰は、2 打とする。

競技の条件

1. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

2. 使用球の規格(ゴルフ規則 175 ページ参照)

『公認球リストの条件・規則付 I(c)1b』

3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・規則付 I(c)1a』(ゴルフ規則 174 ページ参照)

4. ゴルフシューズ

正規のラウンド中、プレーヤーが金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は競技失格。

5. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

6. ホールとホールの間での練習禁止(規則 7-2 注 2)

『規則付 I(c)5b』(ゴルフ規則 179 ページ参照)

7. プレーの中断と再開

- (1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b,c,d に従って処置すること。
- (2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間をいたときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは競技失格とする。この条件の違反の罰は競技失格(規則 6-8b 注)
- (3) プレーの中断と再開の合図について
通常のプレー中断 : }
険悪な気象状況による即時中断 : } 本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。
プレーの再開 : }

8. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、プレーヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。
この条件の違反の罰は『規則付 I(c)2』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 27-1)
アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。ただし、1 番ホールグリーン左側のアウトオブバウンズの境界は白線をもって表示する。
2. 修理地(規則 25-1)
修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を標示する。ただし、次のものを含むスルーザグリーン芝草を短く刈ってある区域(規則 25-2 参照)にある距離計測のための黄色いペイント。ただし、そのペイントがプレーヤーのスタンスの障害となっても、それ自体は規則 25-1 に基づく障害とはみなされない。球がそのペイントの上にあるか、触れている場合、またはそのペイントが意図するスイング区域の障害となる場合のみ、規則 25-1 に基づいて救済を受けることができる。
3. ウォーターハザード(規則 26-1)
ウォーターハザードは黄杭または黄線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
4. 動かさない障害物(規則 24-2)
 - a. 排水溝
 - b. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)
 - c. 動かさない障害物と白線でつながれている区域(その動かさない障害物の一部とみなす)
 - d. 黄黒の縞杭
5. コースと不可分の部分
 - a. 小砂利やウッドチップを使用して舗装した区域
 - b. ハザード内にある人工の壁、パイリング(杭)
6. ホールとホールの中の白杭
コース内のホールとホールの中の白杭を結ぶ線を越えて、現にプレーしているホール以外のコース上に止まった球は、アウトオブバウンズの球とする。
7. 防球ネット
コース内にある防球ネットに球が近接しているためにスタンスや、意図するスイングの区域の妨げになる場合、規則 24-2b(i)により処置するときは、その障害物の中や下を通さずに救済のニヤレストポイントを決めなければならない。
8. 指定ドロップ区域
2 番ホールにおいて、球がグリーン奥の防球ネットに近接しているために、スタンスや意図するスイングの区域の妨げになる場合、プレーヤーは罰なしに、指定ドロップ区域にその球をドロップすることができる。

注意事項

1. 競技の条件 4 項において規制されるシューズ以外でもパッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
2. 予備グリーンは定義上「目的外のパッティンググリーン」であり、球が目的外のパッティンググリーン上にある場合、プレーヤーは規則 25-3 に基づいて救済を受けなければならない。なお、定義外の取り扱いをする場合には別途、追加のローカルルールを掲示する。
3. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
4. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 倶楽部 120 球を限度とする。

競技委員長 豊泉 幸夫

距離表

Hole No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
Yards	499	131	330	152	448	451	569	388	399	3367
Par	5	3	4	3	4	4	5	4	4	36

10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
378	194	381	131	569	538	171	411	489	3262	6629
4	3	4	3	5	5	3	4	5	36	72